

謹んで震災のお見舞いを申し上げます。

本年元日に発生した能登半島地震により被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げますとともに、不幸にしてお亡くなりになられた方に衷心より哀悼の意を捧げます。

アフターコロナ対応と能登半島地震等大規模災害への支援に向けて



坂浜地区の皆さんによる上谷戸親水公園のこいのぼり掲揚

新型コロナウイルス感染症が昨年5月8日に2類相当から5類に変更され、これに合わせて政府の対策本部と基本的対処方針が廃止となり、市の対策本部も廃止いたしました。

令和3年2月16日に「予防接種法に基づく臨時接種」との位置づけで、厚生労働大臣から全国の市町村長・特別区長に対してワクチン接種が指示されましたが、「令和5年秋開始接種」を令和6年3月31日に終了することによって、市としてのコロナ対策は全て完了となりました。

こうした中で、令和6年こそ国・地方を挙げてアフターコロナに向けた経済の立て直しや物価高騰対策に専念でき、安寧な日々が戻ってくると期待していましたが、残念なことに元日早々に能登半島地震が発生し、大規模な被害が発生してしま

いました。

市としての対応は後述するとおりですが、東日本大震災と同様に復興には相当の期間を要すると見込まれるため、稲城市におきましてもできる限りの支援を継続してまいります。

感染症にせよ、地震や風水害にせよ、自然災害は避けて通れないことは自明であります。どのような災害が発生しても市民の安全を確保することは、行政として永遠のテーマです。今後とも引き続き安全安心な稲城市を目指し、柔軟に対応できる体制の構築に取り組んでまいりますので、市民の皆様のご理解・ご協力とご参加をお願いいたします。

稲城市長 高橋 勝浩

新型コロナウイルス感染症への対応経過

1. ワクチン接種の取組み

令和5年8月発行の「市政報告書」に掲載した以降の状況は、次のとおりです。

①「令和5年秋開始接種」の実施

令和5年9月20日から「令和5年秋開始接種」を実施し、令和6年3月31日に終了しました。

接種対象者は、前回接種から3ヵ月以上経過した、追加接種可能な生後6ヵ月以上のすべての方です。

接種体制は、市内各医療機関における個別接種会場、稲城台病院における大規模個別接種会場、中央文化センター・市立病院健診外来棟における集団接種会場で開催しました。乳幼児・小児については、対応可能な5カ所の診療所において個別接種で実施しました。

接種券は、追加接種が可能な生後6ヵ月以上の方については、令和5年8月9日に一斉発送し、「令和5年春開始接種」を実施した方については、前回接種から3ヵ月経過以降に順次発送しました。

表1「令和5年秋開始接種」で使用するワクチン

○オミクロン株 XBB1.5 対応 1 価ワクチン（ノババックスも使用可能）

対象年齢	使用ワクチン
生後6ヵ月～4歳以下（乳幼児用）	ファイザー社
5～11歳（小児用）	ファイザー社
6～11歳	モデルナ社
12歳以上	ファイザー社・モデルナ社・ノババックス社（武田社）

なお、これまでは生後6ヵ月以上の全員を対象にワクチン接種を実施してきましたが、今回から追加接種に対する公的関与の対象範囲が変更され、「65歳以上高齢者・5歳以上で基礎疾患を有する方・重症化リスクが高いと医師が判断した方」以外の方については、予防接種法第8条（接種勧奨）・第9条（努力義務）の対象から除外されました。

ただし、初回接種については、令和5年度の1年間は、引き続き生後6ヵ月以上のすべての未接種者を対象としました。

表2「令和5年秋開始接種」の接種実績（令和6年4月30日時点）

対象者	対象者数	接種済件数	接種率
65歳以上	20,709人	11,979件	57.8%
12歳以上64歳以下	63,052人	8,905件	14.1%
5歳以上11歳以下	6,471人	187件	2.9%
生後6ヵ月以上4歳以下	3,329人	73件	2.2%
合計	93,561人	21,144件	22.6%

②特例臨時接種体制の終了

コロナワクチンコールセンターの体制は、令和5年12月末で業務を終了しました。

システムでの予約は、令和5年12月末で終了し、以降は各クリニックでの予約に移行しました。

③「令和6年秋開始接種」の実施（予定）

新型コロナワクチンの接種については、令和6年3月末までは予防接種法上の「特例臨時接種」に位置付けられ、全額国費で実施されていました。

令和6年度からは、季節性インフルエンザと同様の位置付けに変更され、9月頃から接種が開始される見込みです。現時点では、接種事業の詳細が国から示されておりませんが、概要は以下の予定です。

- 予防接種法上の「B類疾病の定期接種」に位置付けられ、原則有料（生活保護受給者は無料）です。
- B類疾病は、個人の発病及びその重症化を防止するとともに、その蔓延の予防に資することで間接的な集団予防を図るとされており、接種の努力義務はなく、接種勧奨も行いません。
- 定期接種の対象は、①65歳以上の高齢者、②60歳以上65歳未満で心臓・腎臓・呼吸器・免疫機能のいずれかに重大な障害のある方となる予定です。
- ワクチン接種費用は当初7,000円程度と想定され、半額を自己負担とする予定でしたが、ワクチン代金の高騰により15,340円となるため、増額分が国の基金から市に助成金として交付され、自己負担額は変更なしの予定です。
- ワクチン接種は、市内各医療機関における個別接種となりますが、インフルエンザと同様に、八王子市・町田市・日野市・多摩市の各医師会と契約のうえで、相互乗り入れ体制を整備し、市外でも接種できるようにする予定です。

2. 新型コロナ・物価高騰等への対策の概要

前回の市政報告書以降、昨年後半から新型コロナウイルス感染症対策、燃料・物価高騰対策として一般会計に予算計上した事項の概要は次のとおりです。

●令和5年度一般会計補正予算（第4号）（令和5年第3回市議会定例会上程・9月27日議決）

新型コロナ対策関連歳出合計：101万円

○予防接種健康被害給付費負担金：101万円

新型コロナウイルス感染症の予防接種を受けた後に健康被害があった人が、予防接種後健康被害救済制度に基づき国に申請し、認められた医療費（入院・外来）+医療手当の1人分

●令和5年度一般会計補正予算（第5号）（令和5年第4回市議会定例会上程・12月18日議決）

新型コロナ対策・物価高騰対策関連歳出合計：5,166万円

○高齢者施設等整備補助金：650万円

認知症高齢者グループホーム及び看護小規模多機能型居宅介護の併設型事業所の整備について、国の補助単価が改定されたことに伴う増額

○予防接種健康被害給付費負担金：4,516万円

新型コロナウイルス感染症の予防接種を受けた後に健康被害があった方が、予防接種後健康被害救済制度に基づき国に申請し、認められた医療費（入院・外来）+医療手当+死亡一時金の1人分

●令和5年度一般会計補正予算（第6号）（令和5年第4回市議会定例会追加上程・12月18日議決）

新型コロナ対策・物価高騰対策関連歳出合計：6億8,092万円

○住民税非課税世帯等臨時重点支援給付金：5億5,545万円

国の経済対策、令和5年12月1日の基準日現在に住民税均等割が非課税である世帯・生活保護世帯・課税世帯に扶養されている非課税世帯・家計急変世帯に現金7万円（第3号補正による3万円と合わせて10万円）を支給。給付金+事務経費など

○物価高騰重点支援給付金：3,620万円

国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した市単独事業。物価高騰の影響を受ける市民・施設・事業者等に対する緊急対策：対象となる施設・事業は次のとおり。

【障害福祉部門】

- 訪問・相談系事業
- 通所系事業
- 施設・居住系事業

【障害児支援部門】

- 訪問・相談系事業
- 通所系事業

【学童クラブ部門】

- 民設民営学童クラブ

【高齢福祉部門】

- 訪問系事業
- 通所・多機能系事業
- 施設・居住系事業

【児童館部門】

- 民設民営児童館

【幼稚園部門】

- 私立幼稚園
- 幼稚園型認定子ども園

【保育所部門】

- 私立認可保育所
- 幼保連携型認定こども園
- 家庭的保育事業
- 認証保育所
- 企業主導型保育所
- 病児病後児保育室

○デジタル商品券事業：8,927万円

国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用した市単独事業、市民・市内事業者への物価高騰対策として20%プレミアム付きデジタル商品券1万円×6万セット、10%プレミアム付（紙）商品券1万円×1万セットを販売）

●令和5年度一般会計補正予算（第7号）（令和6年1月29日専決処分）

物価高騰対策関連歳出合計：2億1,251万円

○住民税非課税世帯等臨時重点支援給付金：2億1,251万円

国の経済対策で低所得者支援及び定額減税を補足する給付金制度

- ①給付金：令和5年12月1日の基準日現在に令和5年度分の住民税均等割のみが課税である世帯に1世帯当たり10万円を給付
- ②子ども加算：令和5年12月1日の基準日現在、令和5年度分の住民税非課税世帯（生活保護世帯を含む）及び均等割のみ課税世帯で扶養されている18歳以下の子1人につき5万円を子ども加算として給付

●令和5年度一般会計補正予算（第8号）（令和6年第1回市議会定例会上程・3月28日議決）

新型コロナ対策関連歳出合計：23万円

○予防接種健康被害給付費負担金：23万円

新型コロナウイルス感染症の予防接種を受けた後に健康被害があった人が、予防接種後健康被害救済制度に基づき国に申請し、認められた医療費（入院・外来）+医療手当の1人分

●令和6年度一般会計補正予算（第1号）（令和6年第2回市議会定例会上程・6月20日議決）

新型コロナ対策関連歳出合計：1億4,756万円

○新型コロナウイルスワクチン接種関連経費：1億4,756万円

自己負担のある接種対象者には3,500円を除き単価11,840円を市が負担、自己負担のない接種対象者には単価15,340円を市が負担、南多摩4市以外の他市で全額自己負担により接種を受けた場合自己負担額を除いた単価11,840円を償還払い



稲城市 web サイトで、令和6年4月1日以降の新型コロナウイルスワクチン接種についてご案内しておりますので、ご参照ください（二次元コードからアクセスできます）

フォトニュース2024 Photo News 2024

昨年未から今春まで、市政にまつわる各種行事について写真でご紹介します。



令和5年12月2日 東京ヴェルディは2023シーズンで第3位となり、自動昇格の2位以内に入れませんでした。国立競技場で行われたJ1昇格プレーオフの決勝で清水エスパルスと対戦して引き分け、規定により16年ぶりのJ1昇格を獲得しました！



12月4日 国立の感動冷めやらぬ翌々日に、城福浩監督が選手を連れて市役所を訪問、J1復帰の報告をしてくださいました。



12月7日 読売巨人軍の45番 畠世周選手と48番 田中千晴選手が長峰小学校で訪問授業をしてくださいました。



12月12日 第六小学校にテリー伊藤氏を迎え、「夢の課外授業」を実施しました。



12月25日 ファジアーノ岡山所属のJリーガー輪笠祐士選手を「稲城市ホームタウンアスリート」に認定しました。



令和6年1月5日 稲城市とカリフォルニア州フォスターシティ市との姉妹都市提携に功績のあったスティーブ・オカモト氏を「稲城市市政功労者」として表彰しました。授与式は、両市の交流協会をオンラインで繋いで実施しました。



1月16日 パラ卓球の七野一輝選手を「稲城市ホームタウンアスリート」に認定しました。その後七野さんはパリパラリンピックの日本代表選手に内定しました！



1月25日 「平和首長会議」加盟の多摩地域市長全員による「東京都多摩地域平和ネットワーク市長会議」が開催されました。



阿部慎之助監督と



桑田真澄監督と

2月2日 読売巨人軍春季キャンプの宮崎市を視察し、1軍の阿部慎之助監督と2軍の桑田真澄監督を表敬訪問しました。

2月3日 山形市の佐藤市長とともに都城市の池田市長を訪問し、都城市で行われている読売巨人軍3軍の春季キャンプを視察。3軍の駒田徳広監督と稲城市出身の田村朋輝投手を表敬訪問しました。



駒田徳広監督（右から2人目）らと



稲城市出身の田村朋輝選手と



2月15日 16年ぶりにJ1復帰を果たした東京ヴェルディの城福浩監督に「稲城市特別功労賞」を授与しました。



3月3日 コロナ明けで久しぶりに「稲城市ふるさと郷土芸能まつり」が開催されました。



3月3日 大河原邦男プロジェクト「メカデザイナーズサミット」の終了に伴う新規事業「メカデザインコンテスト」の表彰式を実施しました。



3月5日 「読売ジャイアンツ稲城市PRサポーター」として男子選手2人・女子選手2人が就任。「稲城市観光大使」も務める宮本和知女子チーム監督とともに就任報告に来庁されました。



3月21日 旧第四保育園施設を改装して完成した稲城市発達支援センター分室・教育相談室分室・稲城市重症心身障害児(者)等通所施設の開所式を実施しました。



3月31日 三沢川桜・梨の花まつりのクローリングセレモニーにて、皆さんとともに「稲城市歌」を合唱しました。



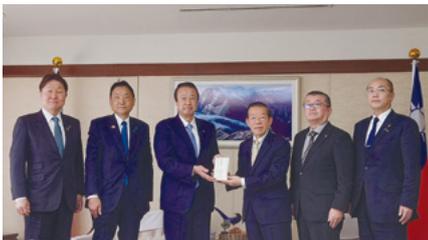
4月1日 稲城市消防団の辞令交付式が開催され、消防団長から新たな役員や新入団員に辞令を交付しました。



4月6日 「春の全国交通安全運動」と「稲城市交通安全ローラー作戦」の合同出陣式を稲城市役所北側いこいの広場で実施しました。



4月10日 教育再生首長会議の4月例会として駐日インド大使館を訪問し、大使からインドの教育改革の実情を講演いただきました。



4月10日 台北駐日経済文化代表処(台湾の大使館に相当)を訪問し、謝長廷代表(大使に相当)に台湾東部地震への義援金を手渡しました。



4月18日 デフバレーボール世界選手権の日本代表選手に選定された松永彩珠さんが、報告に来庁されました。



5月31日 パリパラリンピックのゴールボール競技日本代表に選定された萩原直輝選手を「稲城市ホームタウンアスリート」に認定しました。

4月26日 国土交通省による多摩川の緊急治水対策事業の一環として、大丸堰が撤去され、併せて新たに整備された大丸用水の取水口を視察しました。



令和6年度 当初予算の主な内容

令和6年第1回市議会定例会において可決・成立した当初予算について、第5次長期総合計画の将来都市像「**緑につつまれ 友愛に満ちた市民のまち 稲城**」の実現に向けて定めた「5つのまちづくりの基本目標」に沿って、概要をご報告します。

I 子育て・教育・文化 ～育ち・学びを通じてだれもが輝けるまち 稲城



- **南山小学校学童クラブ受入定員拡大** 定員 120 人 ⇒ 160 人、クラス数 3 ⇒ 4 **写真①**
- **稲城第二小学校普通教室整備工事** 児童数増加に伴い必要な 3 教室を確保する。令和 6 年度は少人数教室を転用、7 年度に 2 室分を確保するための工事を実施 **写真②③**
- **稲城第二小学校校舎増築工事** 児童数増加に対応し、令和 6 年度に基本設計・実施設計を実施、7 年度に工事の予定 **写真④**
- **平尾小学校普通教室整備工事** 児童数増加に伴い必要な 1 教室を確保する工事を実施 **写真⑤**
- **教育相談室分室の開設** 旧第四保育園の施設内に、発達支援センター分室と合わせて開設。中央文化センター南側の教育相談室を移転 **写真⑥**
- **城山文化センター児童館の民営化** 全児童館民営化の計画で、5 館のうち 4 番目の民営化。社会福祉法人東保育会に委託
- **城山小学校学童クラブの民営化** 全学童クラブ民営化の計画で、16 クラブのうち 13 番目の民営化。社会福祉法人東保育会に委託
- **子育て世帯支援策のサポート体制の充実** ファミリーサポートセンター活動会員に交通費を支給し、研修受講したファミサポマイスターには活動費の時間単価を 900 円 ⇒ 1,300 円に増額
- **義務教育就学児医療費助成事業の所得制限撤廃** マル子の都制度で定められた所得制限を撤廃し、すべての児童生徒を対象とする
- **高校生等医療費助成事業の所得制限撤廃** マル青の都制度で定められた所得制限を撤廃し、18 歳までのすべての子どもを対象とする
- **ファーストバースデーサポート事業の配付額の拡充** 1 歳を迎える子どもの家庭に対する育児パッケージの



写真① 南山小学校の学童クラブ



写真③ 第二小学校のコンピューター室



写真⑤ 平尾小学校



写真② 第二小学校のランチルーム



写真④ 第二小学校の校舎増築予定地



写真⑥ 教育相談室分室の外観

- 配付額を1万円⇒6万円に増額
- ESD教育（持続可能な社会づくりの担い手を育む教育）の拡充 「国連を支える世界こども未来会議 in INAGI」の開催、中学校における留学生等との英語によるコミュニケーションの実施
- 学校給食費物価高騰等緊急対策臨時負担補助金 令和4年7月以降実施した2度の価格改定による差額分を市が負担
- 学校マネジメント強化事業 公立小中学校の副校長の事務負担軽減のため、各希望校に補佐職員を配置
- 城山小学校体育館バリアフリートイレ設置工事 避難所に指定している小中学校でバリアフリートイレが設置されていない4校へ順次整備する
- 小学校特別教室空調設備設置工事 6年度は小学校10校、計23教室に設置、7年度に中学校を予定
- 学校給食共同調理場第一調理場建替移転事業 II期工事のための用地取得
- 学校給食共同調理場第二調理場自動フライヤーの更新 平成11年4月に導入した自動揚げ物機を更新
- （仮称）第四次稲城市子ども読書活動推進計画の策定 第三次計画が令和6年度に期間満了となるため、7～11年度の次期計画を策定
- 第三文化センター空調設備改修工事 図書館システムを更新
- 第四公民館陶芸窯の更新 老朽化したガス陶芸窯（素焼き用・本焼き用）を電気窯に更新

Ⅱ 保健・医療・福祉 ～だれもが地域で健やかに暮らせるまち 稲城



- 市立病院機器・備品購入 CT（平成19年取得）・MRI（平成24年取得）の更新 写真⑦
- 「地域包括支援センターこうようだい」の移転支援 ATMを残して無人化するきらぼし銀行向陽台支店の空きスペースを有効活用 写真⑧
- 発達支援センター分室の開設 旧第四保育園の施設内に、教育相談室分室と合わせて開設 写真⑨
- 重症心身障害児（者）等通所施設の開設 旧第四保育園の施設内に、発達支援センター分室とは区画を分けて開設 写真⑩



写真⑦ CT装置のイメージ



写真⑨ 発達支援センター分室の屋内



写真⑧ 地域包括支援センターこうようだいが移転する旧きらぼし銀行向陽台支店



写真⑩ 重症心身障害児（者）施設

- 休日急病診療事業に係る医師会委託単価の改定** 市内診療所で輪番実施の委託単価を増額
- 重層的支援体制整備事業の実施** 福祉4分野（生活困窮・高齢・障害・児童）における複雑・多様化した地域支援ニーズに対応するため、包括的な相談・支援体制を構築。市役所生活福祉課に人員配置
- ハンディキャブ車両更新** 老朽化した車両2台を更新するため社会福祉協議会へ補助金交付
- 脳の健康度測定事業** 問診とタブレットによる測定で認知症を早期発見し予防・改善。ミニ講座・栄養指導による知識の普及啓発
- 在宅医療・介護連携支援センター事業「いなぎ在宅医療介護相談室」の充実** 平成27年度から医師会へ委託。相談員の配置を週3日⇒週5日
- 在宅人工呼吸器使用者への災害時支援** 国指定難病の制度により電源確保されている方を除き、停電時に対応する自家発電機又は蓄電池を給付
- 介護保険料・国民健康保険税の改定**

Ⅲ 環境・経済・観光 ～水と緑につつまれ 活力あふれる賑わいのまち 稲城



- 吉方公園改修整備事業** 令和6年度に実施設計、7～8年度に工事予定 **写真⑪**
- 剪定枝破碎処理車（タウンビバー）の更新** 平成16年度導入で老朽化した車両を更新。受注改造のため納車は令和7年度。堆肥化するための二次破碎処理委託も合わせて実施 **写真⑫**
- 複合施設ふれんど平尾のグラウンド照明のLED化** **写真⑬**
- ホームタウン支援の更なる推進** 東京ヴェルディ・読売ジャイアンツとの公民連携による地域活性化の取組み **写真⑭⑮**
- 駅周辺店舗出店補助事業における対象区域の拡大** 市内6駅周辺⇒市内全域に拡大
- 稲城市体育協会の名称変更等に伴う経費助成** 令和6年4月に稲城市体育協会から稲城市スポーツ協会に名称変更され、それに併せて市民大会等の名称も変更



写真⑪ 吉方公園の完成イメージ図



写真⑫ 現行のタウンビバー車両



写真⑬ ふれんど平尾グラウンド 現行の照明塔



写真⑭ 東京ヴェルディのマスコットキャラクター・リヴェルンと稲城なしのすけ



写真⑮ 読売巨人軍のマスコットキャラクター・ジャビットくんと稲城なしのすけ

○**姉妹友好都市への観光交流事業の補助** 市民を対象とした姉妹友好都市への交流ツアーを企画。令和6年

度は相馬野馬追バスツアーを計画し、旅行代金の一部を補助

IV 都市基盤整備・消防・防犯 ~安全でだれもが安心して快適に暮らせるまち 稲城



- 多7・5・3号線新設事業** 矢野口・川崎街道～旧鶴川街道区間の継続事業。令和6年度は電線共同溝整備工事・引込管路等設置委託・道路築造工事等 **写真⑬**
- 多3・4・12号受託事業** 都道読売ランド線の継続事業。令和6年度は道路詳細修正設計補足・ランド坂公園設計・道路改良工事・用地買収・物件補償等／丘の湯西側～川崎市境区間の道路詳細設計・電線共同溝詳細設計・用地買収・物件補償等 **写真⑰**
- 稲城駅南口駅前広場整備事業**（バス乗車場の増設等に向けた改良工事） **写真⑱**
- 京王よみうりランド駅南口駅前広場整備事業** バス乗車場の増設等に向けた詳細設計 **写真⑲**
- 地震自動解錠ボックスの増設** 避難所を早期に開設するため鍵を避難所近くに移設 **写真⑳**
- 市道638号線等整備事業** 坂浜西地区地区計画に基づく新きさらぎ橋～中橋区間の継続事業。令和6年度は用地買収・物件補償
- 市道456号線整備事業** 鶴川街道（百村区間）整備

に伴う市道取付道路整備の継続事業。令和6年度は用地買収・物件補償

- iバス乗降調査委託** 第三期路線見直しに向けた基礎資料として乗降の状況・利用者の属性を調査
- 南山東部土地区画整理事業関連下水道工事・雨水調整池建設費負担金**
- 下水道污水管工事**
- 雨水管理総合計画の策定** 令和6年度は計画期間・下水道計画区域・計画降雨を設定し、段階的対策方針を定め、令和7年度に段階的対策計画を策定する
- 押立堀排水機場発電機修繕工事** 停電時に稼働する発電機の分解整備
- 菅堀整備事業** 押立郵便局南側の護岸整備
- （仮称）第四次稲城市消防基本計画の策定** 令和7年度に期間満了となる第三次計画を6～7年度に更新改定
- 稲城市地域防災計画の修正** 東京都の地域防災計画の修正・首都直下地震等における被害想定の見直しを踏まえて修正



写真⑬ 工事中の多7・5・3号 宿椋戸線
 写真⑰ 工事中の多3・4・12号 都道読売ランド線
 写真⑱ 稲城駅の南口駅前広場
 写真⑲ 京王よみうりランド駅の南口駅前広場
 写真⑳ 地震時自動解錠ボックスの設置例（稲城第四中学校）

V 市民・行政 ～みんなで作る持続可能な市民のまち 稲城



- 姉妹友好都市交流の推進** ①国内：野馬追観覧市民ツアーの開催・大空町との交流事業促進、②海外：令和6年8月にフォスターシティ市の少年硬式野球チームを受入れ・令和7年度に稲城市の子どもをフォスターシティ市へホームステイ派遣する準備 写真⑲～⑳
- 市民意識調査** 第五次長期総合計画の中間期にあたり5年ごとに調査を実施
- 男女共同参画実態調査** 令和7年度に第五次男女共同参画計画を策定するため、基礎資料として実態調査を実施
- 自治会防犯カメラ運用経費補助金** 平成31年度から実施している設置補助金により設置した防犯カメラについて維持管理経費も補助対象とする
- 市ホームページ全面改修** 平成25年度の全面改修か

ら10年が経過し、使いづらい・わかりにくいとのご意見を解消すべく改修を実施

- 稲城市庁舎の施設設備における災害対策** 災害等による停電時の業務継続可能エリアを庁舎全体に拡大するため、受変電設備の改修工事に向けた設計委託を実施
- 稲城消防署空調設備改修工事** 経年劣化した空調設備を改修し、停電時にも都市ガス供給のみで稼働でき外部給電も可能な空調設備に更新
- 生成AI (ChatGPT) の導入** 対話型の生成AIを活用し、職員の業務効率化・デジタルリテラシー向上を図る
- 公共施設予約システムの更新** 体育施設のオンライン予約に加え、利用料金のオンライン決済・鍵を借りるため体育館等に取りに行く必要のないスマートキーの機能を追加



写真⑲ 相馬市の野馬追まつり



写真⑳ フォスターシティ市の子どもたちとの交流



写真㉓ 大空町のひまわり畑



写真㉔ 大空町の芝桜



「5つのまちづくりの基本目標」に添えたロゴマークは、2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」(SDGs)のうち、まちづくり基本目標に関連した開発目標を示しています。



災害支援関係 —令和6年能登半島地震—

令和6年元日に発生した能登半島地震では、石川県内で241人（震災関連死15人を含む）の尊い命が犠牲となり、輪島市では地震直後に発生した大規模火災により、朝市通り周辺の200棟以上の建物が焼失しました。避難者はピーク時の1月5日に石川県内で33,500人余を記録し、損壊建物は3月1日時点の集計で、石川県75,410棟・富山県12,185棟・新潟県19,259棟に上り、その後の現地調査が進むにつれて、さらに増えているようです。

今回の震災では、阪神淡路大震災や東日本大震災と比較すると被災範囲は狭かったものの、大規模火災による消失、耐震化が遅れた木造家屋の倒壊など、様々な要因で被害は大規模なものとなりました。また、海岸線まで迫っている急峻なげ地の崩落や随所で液状化が発生するなど、半島特有の地形的要因により道路が寸断され、重機や支援物資の搬送に手間取り、上下水道の復旧も遅れてしまいました。

災害支援物資のプッシュ型支援

稲城市では元日の発災直後から消防本部を中心に情報収集に努めましたが、現地では交通や通信が大混乱であり、被災地から支援を要請することもままならなかったため、要請を待たずに支援物資を提供することを決定し、1月4日に災害備蓄品の1.5リットル入り飲料水ペットボトル1,600本を2トントラックに満載し、羽咋市に提供しました。

緊急消防援助隊としての消防隊派遣

消防本部では1月2日には派遣準備をしておりましたが、8日に正式な派遣要請を受け、9日から2月2日までの25日間、緊急消防援助隊東京都大隊の一小隊と

して、第一次派遣隊から第八次派遣隊まで延べ23人の消防職員を輪島市の復旧・復興のため派遣しました。

全国市長会災害支援ネットワーク等を経由しての支援

- 罹災証明書発行業務（申請の相談・受付等）の職員派遣：東京都市長会からの派遣要請により、4月2日～10日、輪島市に職員1人を派遣しました。
- 災害廃棄物処理業務（公費解体申請の相談・受付等）の職員派遣：環境省からの派遣要請により、4月10日～16日、志賀町に職員1人を派遣しました。
- 罹災証明書発行業務（申請の相談・受付等）の職員派遣：東京都市長会からの派遣要請により、5月7日～15日、輪島市に職員1人を派遣しました。

その他の支援

- 義援金の募金：1月4日から市内公共施設にて、募金を開始しました。
- ふるさと納税の災害支援代理寄附金受付：1月9日から珠洲市について、10日から輪島市について、「ふるさとチョイス災害支援サイト」により、ふるさと納税の代理受付を開始しました。
- 災害支援ナースの派遣：東京都看護協会からの派遣要請により、1月24日～27日、要支援～要介護2の高齢者を収容し1.5次避難所として使用する金沢市所在の県立「いしかわ総合スポーツセンター」に稲城市立病院の災害支援ナース1人を派遣しました。

稲城市では、いつ災害が発生しても即対応ができるよう、災害対策本部運営・避難所開設訓練を実施して有事に備えております。地元のみならず広域支援にも常に備えています。



緊急消防援助隊の第一次派遣隊



緊急消防援助隊の活動状況



災害支援ナースの派遣
(右から3人目)



稲城市長 高橋勝浩 市政報告 令和6年(2024年)8月

発行：躍進する稲城の会

発行責任者：原田富雄

事務所：稲城市矢野口2356

電話：042-378-3820

FAX：042-379-8088

ホームページ：katchan-inagi.com

E-mail：yakushin@katchan-inagi.com

Facebook：www.facebook.com/katsuhiko.takahashi.3

X(旧twitter)：x.com/inagiKatchan